

## 中央大学史資料集第五集の発行にあたって

本集および来年度刊行予定の第七集・第八集は、国立公文書館に所蔵されている文部省公文書（昭和四十七年度移管分）のうちから本学関係の諸史料を調査・収集し、編集した資料集であります。

第一分冊にあたる本集には、一九二四（大正十三）年から一九三四（昭和九）年の十年間にわたって本学が文部省に提出した諸申請と、その認可をめぐる公文書十八点を収録いたしました。この時期は、大学令に準拠した中央大学の設立という夢を実現した本学が学科課程や諸施設を徐々に整備・拡充してゆく時期にあたり、収録史料も教育内容の充実をめざした学則改正や、駿河台校舎の建設をはじめとする諸施設や校地の拡充関係の申請が多くなっております。また、目次には第七集・第八集の収録予定史料もあわせて掲載してありますので、翻刻史料の全体像についてはそちらをご覧ください。

これらの公文書は、火災などの理由で学内史料があまり残らなかった本学にとっては、ほとんど唯一の基礎的史料であり、第一集・第二集で翻刻した東京都公文書館所蔵の公文書とともに、大学の制度的側面を研究するための前提となるものであります。本集以降、順次刊行される国立公文書館所蔵の諸史料により、これまで曖昧であった本学の軌跡もかなり明確になるものと確信しております。

貴重な史料の閲覧・収集と刊行をお許しくくださった国立公文書館に、深甚なる敬意と謝意を表するものであります。

一九八九年十二月

専門委員会主査

菅野芳彦